

平成24年9月30日(日)

日高新報



参加者を前に講演する楠山院長(右)

減塩、禁煙、ストレス解消

市民公開講座で高血圧予防学ぶ

市民公開講座が26日に市役所で開かれ、主婦ら40人が参加。和歌山病院の楠山良雄院長を迎えて「高血圧は万病のもと」をテーマに聴いた。

楠山院長は「高血圧は放っておくと狭心症、心筋梗塞、心不全、脳卒中、腎不全、網膜症などにつながる」と警鐘。「高血圧

は遺伝的な因子に環境因子（生活習慣）が加わることで発症する。減塩、体重の減量、適度な運動、節酒、禁煙、ストレス解消に努めることが大切」と呼びかけた。参加者たち

は熱心に聞き入り、日々の生活習慣振り返っていた。